

# 令和7年度事業報告

## 1 研究テーマ

酒造用原料米の酒造適性に関する研究

## 2 研究の現況・進捗状況

### (1) 概要

酒米研究会は、原料米の酒造適性を総合的に研究すること及び当該酒造期に使用される原料米の性質をできるだけ早期に把握し、それぞれの原料米に適した酒造管理を行えるようにすることを目的としている。

主な活動は、酒米研究会総会及び酒米懇談会の開催並びに原料米の全国統一分析である。また、本会は酒類製造技術者のみならず、育種・栽培関係者、米に関する研究者等、広く酒米に関心を持つ者も会員として受け入れている。現在（令和8年4月14日）の会員構成は、272名の個人と8機関から成っている。

酒米研究会については、令和7年8月20日（水）にオンラインで実施し、各支部での分析結果の活用状況及び分析法の課題等について活発な意見交換を行った。また、酒米懇談会については、令和7年9月5日（金）に、東京都北区滝野川会館大ホールにおいて現地開催した。（2）ハに掲げるように、5名の講師先生に様々な観点から話題提供をお願いし、活発な意見交換がなされ参加者にとって大きな収穫になった。

令和7年度産原料米の全国統一分析については、酒類総合研究所が実施する早期（0次）酒造適性分析のための試料として、酒類総合研究所に試料提供した。酒類総合研究所で実施された早期（0次）酒造適性分析の結果について、詳細な解析を行い本年度の原料米の酒造適性情報として12月26日付で各支部に報告した。また、12月上旬までに各支部において分析が終了した結果について取りまとめ、第1次の速報として12月26日付で、3月末日までに終了した結果を第2次の結果として令和8年4月14日付で関係者に報告した。

### (2) 研究会開催等

#### イ 令和7年度酒米研究会総会

- ① 書面表決 令和7年7月22日～8月19日
- ② 議案：令和6年度事業報告、令和6年度収支報告及び令和7年度予算案、令和7年度産米の分析計画、酒造用原料米全国統一分析法の改訂等

#### ロ 第51回酒米研究会

- ① 開催月日 令和7年8月20日（水）
- ② 方法：オンライン（Zoom）
- ③ 議案：令和6年度産米分析結果、酒造用原料米全国統一分析結果の活用と分析法の課題、その他
- ④ 参加者 21名

#### ハ 第48回酒米懇談会

- ① 開催月日 令和7年9月5日（金）
- ② 開催場所 東京都北区西ヶ原1-23-3 滝野川会館 大ホール

③ 講演内容：

1) 「酒造好適米『百田』ならびに『一穂積』の育成と普及」

秋田県総合食品研究センター醸造試験場 大野 剛 先生

2) 「仕込水の硬度・アルカリ度と原料米の溶解性について」

長野県工業技術総合センター 齋藤 良 先生

3) 「醪管理支援ツール『もろみエール』の原理と活用方法」

名古屋国税局鑑定官室 田島健一郎 先生

4) 「良食味多収水稻品種『にじのきらめき』の再生二期作技術の開発・普及 - 暑さを活かした稲作への挑戦 -」

農研機構 中日本農業研究センター 中野 洋 先生

5) 「日本酒原料米をめぐる状況」

農林水産省 農産局農産政策部 石田浩也 先生

④ 参加者 53名

(3) 刊行物の発行等

- ・第48回酒米懇談会要旨集 (令和7年9月)
- ・令和7年度早期酒造用原料米全国統一分析解析結果 (0次) (令和7年12月26日)
- ・令和7年度酒造用原料米全国統一分析結果 (1次) (令和7年12月26日)
- ・令和7年度酒造用原料米全国統一分析結果 (2次) (令和8年4月14日)

(4) 研究連絡活動

(4-1) 原料米全国統一分析

イ 研究会支部の状況

原料米全国統一分析に参加しているグループ数は、令和7年11月28日現在で、試料の採取を依頼している機関を含めて28機関である。

ロ 令和7年産米の分析

① 早期分析(0次分析)のデータ解析

令和7年産米の早期酒造適性分析のための試料を酒類総合研究所に提供した(58点)。酒類総合研究所にて実施された酒造適性分析のデータ及び各支部からの造り初期の酒造概況、気象・収穫に関するデータを詳細に解析し、令和7年産米の性質の早期予測(0次)として令和7年12月26日付で関係者及び各支部に周知した。

② 1次分析

各支部において12月上旬までに分析の終了した原料米について結果をまとめ、0次分析結果と併せ令和7年度産原料米の性質を予報し、令和7年12月26日付で日本酒造組合中央会会長及び各支部等に報告した。

③ 2次分析

各支部において3月末日までに分析の終了した原料米について結果をまとめ、0次・1次結果と併せ合計84品種250点の結果を2次分析結果として、令和8年4月14日付で日本酒造組合中央会会長及び分析を担当した各支部等に報告した。

(4-2) ホームページ

酒米研究会ホームページ (<http://www.sakamai.jp/>) において、酒米分析結果のデータ及び結果概要を更新し、会員間で有効に活用された。